

多焦点眼内レンズ 高度先進医療適応

費用：高度先進医療の適応です

白内障手術時に挿入する遠近、遠中近両用レンズのご案内

YOUR FOCUS. OUR FOCUS.



3焦点眼内レンズ「PanOptix」取り扱い始めました。

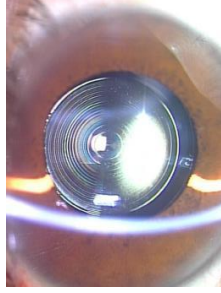
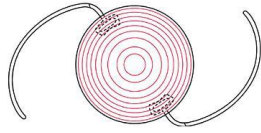
白内障手術の進歩で、手術中や手術後の合併症も少なくなり、国内では年間約100万件の手術が行われています。手術は小さな切開で目の中にレンズを入れることができ、短時間で安全に終了し、入院の必要もありません。一方、長寿社会でより高齢の方が活躍されています。**遠近、遠中近両用の多焦点レンズ**を使うことにより、お仕事、スポーツ、車の運転や読書生活がより便利になります。手術後の生活の質（QOL）が向上します。

多焦点眼内レンズは高度先進医療適応です。先進医療適応により、白内障手術は自費診療となり、術前後検査費や投薬費用などは保険適応になる制度です。高度先進医療は厚労省が許可した施設のみできる治療です。これにより従来の手術に比べ、より高度な手術を選択できます。

レンズ種類	乱視	費用
遠近(2焦点)	乱視なし	42万円
遠近(2焦点)	乱視あり	44万円
遠中近(3焦点)	乱視なし	55万円
遠中近(3焦点)	乱視あり	57万円

多焦点眼内レンズ

いままで白内障の手術の時に目の中に入れる眼内レンズは、単焦点眼内レンズ（遠近両用でない眼内レンズ）が使われていました。が、**多焦点眼内レンズ（遠近、遠中近眼内レンズ）**が認可され、使えるようになりました。これは、遠近両用のメガネやコンタクトレンズなどと同じく、遠くと近くにピントがあります。そのため、術後の生活がより一層快適になります。



眼内レンズの表面に、同心円状の小さなプリズム加工をし、遠くからの光と近くからの光が、同時に網膜上に焦点が合う構造をしており、遠近または遠中近にピントが合う。

★こんな人にお勧めします

●近くや遠くを繰り返し見る人

コンピュータープログラマーや学校の先生など仕事上近くや遠くを繰り返し見なければいけない人は、いちいちメガネのかけかえの必要がありません。特に遠中近（3焦点）眼内レンズが最適です。

●車の運転をよくする人

車の運転中も頻繁に遠くや近くに視線を移す必要があります。より安全な運転や疲れにくい運転ができます。

●ゴルフなどのスポーツを楽しむ人

遠近両用の眼内レンズにすることで、プレーやスコア記載がスムーズになります。南アフリカのプロゴルファー、ゲーリー・プレイヤーも両眼に多焦点眼内レンズを入れていています。

●メガネが苦手な人

メガネが苦手な方やメガネをかけられない職業の人にもお勧めします。

●若い人

若くて白内障手術の人には最適です。これから長い人生を過ごされるのに必要なレンズです。

多焦点眼内レンズは遠近、遠中近両用レンズで、近くや遠くが今までのレンズに比べずっと見やすくなります。メガネをかけたり、メガネを掛け変えたりすることが減ります。手術後の生活の質（QOL）が改善されます。興味のある方、お気軽にお尋ねください。



「遠方・60cm・40cm」で中間・遠方・近視・遠視のピークが異なるため、40～80cmの連続した焦点距離の見え方の質が良いように設計されています。また、乱視用レンズ（右）もあります。」

当院は先進医療施設の認定を受けており、生命保険会社の先進医療特約を契約している方は、保険金を受け取れます。ご希望の方は保険会社に契約内容の確認をして下さい。

すべての白内障手術に適応があるわけではございません。